

## 2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月11日

上場会社名 初穂商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7425 URL <https://www.hatsuho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 斎藤 悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長

(氏名) 成田 哲人

TEL 052-222-1066

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	25,509	2.1	942	13.5	1,106	7.6	685	2.6
2023年12月期第3四半期	24,984	6.9	1,090	8.4	1,198	6.4	703	10.1

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 790百万円 (0.1%) 2023年12月期第3四半期 789百万円 (7.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年12月期第3四半期	208.62	
2023年12月期第3四半期	214.69	

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	20,652	10,283	44.4
2023年12月期	22,731	9,689	38.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 9,168百万円 2023年12月期 8,644百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年12月期		0.00		110.00	110.00
2024年12月期		0.00			
2024年12月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2024年12月期(予想)については、株式分割後の数値を記載しております。(参考) 株式分割を考慮しない場合の年間配当金 2024年12月期(予想) 120.00円

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	35,200	2.3	1,440	1.3	1,590	1.0	984	0.8	299.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は株式分割後の数値を記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	3,480,660 株	2023年12月期	3,480,660 株
期末自己株式数	2024年12月期3Q	188,920 株	2023年12月期	196,300 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	3,288,009 株	2023年12月期3Q	3,278,836 株

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益や賃金上昇を背景に、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、欧米における高い金利水準の継続や中国経済の先行き及び中東地域をめぐる情勢など、海外景気の下振れに伴う景気後退リスクが懸念されております。

建設業界におきましては、公共投資においては堅調に推移しております。民間投資におきましては、住宅建設はおおむね横ばいとなっており、首都圏のマンション総販売戸数は弱含みで推移しております。非住宅建設は持ち直しの動きがみられるものの、工事の進捗の遅れから手持ち工事高が過去最高水準まで増加しております。また、鋼材等の原材料価格の高止まりや、輸送リードタイムの長期化及び人手不足といった供給面の制約もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、三本の事業セグメントを柱に、多角的で安定した成長を続け、建設セグメントビジネスに特化した建設資材商社のNo. 1を目指して取り組んでまいりました。内装建材事業及びエクステリア事業がグループ全体の成長を牽引しており、住環境関連事業におきましては、中部地域を拠点に他事業セグメントとのシナジーを図りながら、三本の事業の柱となるべく、成長戦略に取り組んでおります。

全事業セグメントにおいて、職工不足や輸送リードタイムの長期化により荷動きが低調となるなか、台風や猛暑の影響が重なり、建設工事の進捗に遅れが生じております。また、新規開拓及び積極的な受注活動を行ってまいりましたが、売上面における前年同四半期比につきましては、内装建材事業は増収となり、住環境関連事業は減収となりました。エクステリア事業におきましては、前年並みの売上高となりました。利益面におきましては、工事の停滞や仕入価格が高止まりするなかで競合他社との価格競争が再燃しており、適正な販売価格の維持が難しく、人件費等のコスト増加の影響もあり、各事業セグメントにおいて、前年同四半期比で減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、255億9百万円(前年同四半期比2.1%増)、営業利益9億42百万円(前年同四半期比13.5%減)、経常利益11億6百万円(前年同四半期比7.6%減)となりました。また、連結子会社である株式会社アイシンの土地の収用に係る受取補償金を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億85百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (内装建材事業)

内装建材事業は、売上高は130億10百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益は8億28百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、台風や猛暑による影響や輸送リードタイムの長期化及び職人不足などにより全国的に工事の遅延が生じており、低調な荷動きではありましたが、新規開拓及び積極的な受注活動に努めたことで、前年同四半期を上回る売上高となりました。利益面においては、工事の停滞や高止まりする仕入価格などの影響により価格競争が再燃し、仕入価格相場変動に柔軟に対応した適正な販売価格の維持が難しく、利益率が低下したことや、人件費等のコスト増加の影響もあり、前年同四半期比において、増収減益となりました。

#### (エクステリア事業)

エクステリア事業は、売上高は92億97百万円(前年同四半期比0.4%増)、営業利益は4億39百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、新設住宅着工戸数の減少により荷動きが鈍い状況が続いておりましたが、販売促進に伴うキャンペーンを行うなど営業活動により前年並みの売上高を維持いたしました。一方で、人件費等のコスト増加が重なったことにより、前年同四半期において増収減益となりました。

#### (住環境関連事業)

住環境関連事業は、売上高は33億12百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業利益は85百万円(前年同四半期比46.3%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、建設資材高騰に伴う住宅価格上昇による住宅建設市場の低迷に加え、台風や猛暑による影響により、中京圏における建設工事数が少なく、拡大戦略のための人材投資によるコストアップにより、前年同四半期比において減収減益となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は206億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億79百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が11億84百万円、受取手形及び売掛金が10億48百万円、電子記録債権が1億12百万円減少し、土地が2億54百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は103億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて26億73百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が21億75百万円、短期借入金が70百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億60百万円、未払法人税等が1億36百万円、流動負債のその他が1億52百万円、長期借入金が1億22百万円減少し、電子記録債務が1億8百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は102億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億93百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が5億5百万円、非支配株主持分が69百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、ウクライナ・中東情勢等の地政学リスク、不安定な為替相場や金融政策の動向等、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれており、今後の状況の変化により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

[ご参考 2024年度(2024年12月期連結業績見通し)]

売上高	352億円
営業利益	14億40百万円
経常利益	15億90百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	9億84百万円

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2024年度(2024年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,502,832	5,318,298
受取手形及び売掛金	※ 6,897,616	※ 5,849,015
電子記録債権	※ 1,684,895	※ 1,572,233
商品	1,319,256	1,351,847
その他	145,950	166,824
貸倒引当金	△927	△1,237
流動資産合計	16,549,625	14,256,982
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,255,504	3,509,627
その他(純額)	1,080,464	1,101,006
有形固定資産合計	4,335,968	4,610,633
無形固定資産		
顧客関連資産	323,670	283,212
その他	21,696	22,379
無形固定資産合計	345,367	305,591
投資その他の資産		
その他	1,546,232	1,524,792
貸倒引当金	△45,203	△45,944
投資その他の資産合計	1,501,029	1,478,848
固定資産合計	6,182,366	6,395,072
資産合計	22,731,991	20,652,055
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 8,405,616	6,230,091
電子記録債務	※ 1,283,949	※ 1,392,762
短期借入金	370,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	571,692	411,636
未払法人税等	288,908	151,969
賞与引当金	178,104	207,117
その他	680,022	527,215
流動負債合計	11,778,292	9,220,791
固定負債		
長期借入金	771,291	649,232
役員退職慰労引当金	27,336	25,109
資産除去債務	26,789	26,936
その他	438,496	446,309
固定負債合計	1,263,913	1,147,587
負債合計	13,042,206	10,368,378

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,324,253	1,334,675
利益剰余金	6,533,995	7,039,308
自己株式	△117,461	△113,377
株主資本合計	8,625,922	9,145,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,345	22,686
その他の包括利益累計額合計	18,345	22,686
非支配株主持分	1,045,516	1,115,249
純資産合計	9,689,785	10,283,676
負債純資産合計	22,731,991	20,652,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	24,984,806	25,509,478
売上原価	20,423,717	20,941,245
売上総利益	4,561,088	4,568,232
販売費及び一般管理費	3,470,787	3,625,608
営業利益	1,090,301	942,624
営業外収益		
受取利息	2,548	3,311
受取配当金	1,723	1,953
仕入割引	80,129	101,887
投資有価証券売却益	1,618	—
保険解約益	1,255	38,367
その他	25,481	24,925
営業外収益合計	112,757	170,446
営業外費用		
支払利息	2,396	3,383
賃貸費用	1,191	1,011
その他	1,197	1,704
営業外費用合計	4,785	6,099
経常利益	1,198,273	1,106,971
特別利益		
受取補償金	—	76,576
特別利益合計	—	76,576
税金等調整前四半期純利益	1,198,273	1,183,548
法人税、住民税及び事業税	363,756	402,552
法人税等調整額	49,651	△5,629
法人税等合計	413,408	396,923
四半期純利益	784,864	786,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	80,942	100,672
親会社株主に帰属する四半期純利益	703,922	685,952



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	784,864	786,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,949	4,110
その他の包括利益合計	4,949	4,110
四半期包括利益	789,814	790,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709,211	690,292
非支配株主に係る四半期包括利益	80,602	100,442

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。なお、決算日が連結決算日と異なる連結子会社の当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
受取手形及び売掛金	197,666千円	15,030千円
電子記録債権	101,878	22,862
支払手形及び買掛金	955,324	—
電子記録債務	360,875	371,470

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	67,408千円	72,307千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	12,387,629	9,143,710	3,453,467	24,984,806
外部顧客への売上高	12,387,629	9,143,710	3,453,467	24,984,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	118,802	—	118,802
計	12,387,629	9,262,512	3,453,467	25,103,609
セグメント利益	925,847	451,263	159,000	1,536,110

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,536,110
全社費用(注)	△445,808
四半期連結損益計算書の営業利益	1,090,301

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	13,010,311	9,186,647	3,312,519	25,509,478
外部顧客への売上高	13,010,311	9,186,647	3,312,519	25,509,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	110,542	—	110,542
計	13,010,311	9,297,189	3,312,519	25,620,020
セグメント利益	828,656	439,785	85,367	1,353,810

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,353,810
全社費用(注)	△411,185
四半期連結損益計算書の営業利益	942,624

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。